


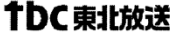




第53回東北中学校卓球大会要項

- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催 東北中学校体育連盟 東北卓球連盟 宮城県教育委員会 利府町教育委員会
- 3 後援 東北地区中学校長会 宮城県中学校長会 岩手県教育委員会 秋田県教育委員会
山形県教育委員会 福島県教育委員会 (公財)宮城県スポーツ協会
利府町 共同通信社仙台支社
-  河北新報社  NHK仙台放送局  三ツギテレビ
 TBC東北放送  khb東日本放送  仙台放送
- 4 主管 宮城県中学校体育連盟 宮城県卓球協会
- 5 会期 令和5年8月4日(金)～8月6日(日)
【競技日程】8月4日(金) 受付 8:00～
監督会議 11:00～
開会式 12:00～
競技 13:00～ 男女個人戦決勝まで
※個人戦表彰
8月5日(土) 競技 9:00～ 男女団体戦予選リーグ
8月6日(日) 競技 9:00～ 男女団体戦決勝トーナメント
閉会式 13:00～
東北六県委員長会議 14:00～
- 6 会場 セキスイハイムスーパーアリーナ
〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1 TEL 022-356-1122
- 7 参加資格 (1) 学校教育法第1条に規定する中学校*に在籍し、各県中学校体育連盟加盟校に在籍する生徒で、競技要項により大会参加資格を得、校長が参加を認めた者。
※本連盟では、「中学校」とは中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部とする。
(2) 同一年度内の参加者は、全種目を通じて一人1種目とする。
(3) チーム編成については学校単位とする。
(4) 過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達する年度まで出場できるものとする。
(5) 参加資格の特例(各種学校等)
① 学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
② 参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。
ア 東北大会の参加を認める条件
(ア) 東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
(イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
(ウ) 参加を希望する学校は、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件
(ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
(イ) 東北大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員・部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

- (ウ)大会開催に要する経費については、応分の負担をすること
- (6) 参加資格の特例（地域クラブ活動に所属する中学生）
- ①地域クラブ活動に所属し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - ②東北大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
 - ア 東北大会の参加を認める条件
 - (ア)東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ)生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
 - (ウ)地域クラブ活動にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - (エ)『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
 - (オ)当該競技を管轄する中央競技団体もしくは各県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で各県中学校体育連盟に登録していること。
 - (カ)各県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
 - (キ)地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
 - イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア)東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ)東北大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ)東北大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
 - (エ)団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。
 - ウ チーム編成の条件（東北中体連独自の取決め）
 - (ア)団体競技（種目）に参加する際は、同一県内中学校に在籍する選手でチームを編成することとし、県境を越えたチーム編成は認めない。
 - エ 参加を認めない場合
 - (ア)本大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

※1 この特例は、令和5年4月1日より適用する。

※2 上記特例については、専門部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。

※3 上記特例については、今後も検討を続けていく。

8 引率者及び監督等

- (1) 学校においては、引率者及び監督は出場校の校長・教員（非常勤は除く）・部活動指導員とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要綱のもと、以下の条件を満たしていなければならない。また、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で登録できる学校は1校のみであること。
 - ①満20歳以上であること。
 - ②主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
 - ③次のいずれかに当てはまる者とする。
 - ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。
 - イ（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
 - ウ 自治体（含む教育委員会）、体育（スポーツ）協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。

※ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。
- (2) 外部・校外コーチは、校長が認めた者とする。ただし、中学校教職員・校長・部活動指導員が他校の外部・校外コーチとしてベンチに入ることは認めない。
 - ※外部コーチ…校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。
 - ※校外コーチ…クラブ・道場などの指導に当たっている者。
- (3) アドバイザーについて（引率者及び監督にはなれない）
 - アドバイザーとして校長の承認を得た当該校の校長・教職員・コーチまたは生徒1名のベンチ入りを認める。

- (4) その他の団体においては、同一競技内において、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で監督、コーチとして登録できるチームは1校（チーム）のみであること。
- (5) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・コーチ・トレーナー等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。また、地域クラブ活動においても指導者に暴力等がないことを代表者が確認して、大会参加申込書を作成すること。何らかの形で虚偽や暴力等の事実が判明した場合は参加を認めない。
- (6) 当該校に部活動がない個人種目については、別紙「東北中学校体育大会引率・監督細則」に基づき、特例を認める。

- 9 参加数 (1) 団体戦は各県男女3チーム。※開催県はプラス1、前年度優勝県はプラス1
(2) 個人戦は各県男女8人。※開催県はプラス8
- 10 競技種目 (1) 男子団体戦 (2) 女子団体戦 (3) 男子個人戦 (4) 女子個人戦
- 11 競技規則 現行の(公財)日本卓球協会が制定した日本卓球ルールによる。ただし、1マッチは5ゲームで行う。
- 12 競技方法 (1) 男女団体戦
① 4単1複の5試合、3点先取法で行う。ただし、単と複に重複して出場することはできない。
② 予選リーグの後、決勝トーナメントで順位を決定する。予選リーグは、4ブロックに分けた男女5チームで行い、各ブロックの1位と2位のチームが決勝トーナメントに出場する。
③ 同一校の選手6～8名、監督1名をもって編成登録する。ただし、全校生徒が4～5名の場合、4～5名でも出場を認める。このとき、5名の場合は1番、4名の場合は1・2番を棄権とする。
(2) 男女個人戦
男女とも単のみとし、トーナメント方式による。
- 13 使用球 日本卓球協会公認球（ニッタク40mm白プラスチックボール）を使用する。
- 14 表彰 (1) 男女団体戦 1位～3位（ベスト4）
(2) 男女個人戦 1位～5位（ベスト8）
- 15 参加料 (1) 参加生徒一人2,000円とする。（登録選手のみ）
令和5年7月28日（金）までに別紙の口座に振り込むこと。
(2) 冷房費として、登録選手1名につき1000円を参加料と併せて振り込むこと。
(3) 参加申込後の出場辞退や欠場の場合における参加料の返金を行わない。
※団体戦と個人戦の両方に出場する場合は、2,000円のみでよい。
参加料は、下記にある指定業者を通して振り込むこと。
- 16 参加申込 (1) 別紙参加申込用紙に必要事項を記入の上、下記に申し込むこと。
※校長の署名押印した原本をPDF化したもの（ただし、フルカラー、300dpi以上に限る）を下記アドレスに送信してもよい。
(2) 各県中学校体育連盟卓球専門部委員長は、各県大会終了後直ちに、東北大会出場チーム・選手一覧表を下記にメールで送付すること。
(3) 申込締切 令和5年7月26日（水）必着

<p>【申込先】 宮城県中学校体育連盟卓球専門部委員長 〒981-1233 宮城県名取市小山一丁目8番1号 名取市立第一中学校 山下 哲哉 TEL 022-382-3321 FAX 022-382-3032 E-mail tohokutakkyum@gmail.com</p>

- 17 諸 会 議 (1) 監督会議 8月 4日 (金) 11:00～
(2) 東北六県委員長会議 8月 6日 (日) 14:00～

- 18 宿 泊 宿泊要項は別紙「参加料/プログラム/宿泊・弁当 申込要項」とする。
※大会出場者(引率・監督・コーチ・選手)の宿泊については、必ず宿泊要項にある指定業者を通して、令和5年7月26日(水)までに上記参加料と合わせて申し込むこと。

【指定業者】

東武トップツアーズ株式会社 仙台支店
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-6-18 山一仙台中央ビル3階
TEL: 050-9001-8563 FAX: 022-265-5765 担当: 佐藤、安達、高橋
E-mail tohokutakkyu@tobutoptours.co.jp
振込先 みずほ銀行東武支店 当座 9252363 東武トップツアーズ株式会社

- 19 その他 (1) 選手は必ずゼッケンをつけること。(県名, 学校名, 姓名)
※(公財)日本卓球協会指定2023年度版のものが望ましい。
(2) 全国大会への参加数
① 団体戦は、男女上位4チームが参加できる。
② 個人戦は、男女上位12名及び日本卓球協会推薦選手が参加できる。
(3) プログラム無料配付は下記の部数とする。
① 団体戦出場校 2部
② 個人戦のみ出場校 1部
(4) プログラム有料(1部1,000円)の必要部数は参加申し込みと一緒に申し込み、参加料と併せて指定業者に振り込むこと。
(5) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ行う。学校においては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの定めを適用し、地域クラブ活動においては、当該クラブ代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。
(6) 申込に使用する漢字は原則として常用漢字・人名用漢字とし、プログラム掲載も同様とする。ただし、それ以外の漢字の使用を特に希望する場合は実行委員会へ相談すること。
(7) 東北中学校体育連盟では申込書に記載する、選手氏名・学校名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に記載する情報の利用に同意が得られない等、事情がある場合は各県中学校体育連盟を通して東北中学校体育連盟及び開催県実行委員会と連絡をとり、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。
(8) 自然災害や感染症等により、大会が実施されなかった際の全国大会出場校(選手)の決定方法については別に定める。
(9) 自然災害等により、緊急的な対応が想定される場合の連絡手段は「ホームページ <http://mctr-tt.com/>」を用いて行う。

- 20 連絡先 大会全般に関する問い合わせ

【申込先】

宮城県中学校体育連盟卓球専門部委員長
〒981-1233 宮城県名取市小山一丁目8番1号
名取市立第一中学校 山下 哲哉
TEL 022-382-3321 FAX 022-382-3032
E-mail tohokutakkyum@gmail.com